

当面の具体的な目標	#1 自宅の花壇の手入れを続けることができる #2 自分でトイレまで歩いて行くことができる
-----------	---

年月日 時間/場所	本人	家族・介護者	地域、医療、その他	記入者
○年7月20日 13:00/自宅	<p>・バイタル測定、着替えを対応する。</p> <p>訪問時、やや陰しそうな表情をしている。事情を尋ねると「自分のことは自分でできる。あれこれと周りから言われると腹が立つことがある。」と話される。トイレに間に合わず衣類が汚れている。着替えを促すと「自分でできる」と語気が強くなったため、病院に行くので着替えませんかと促すと「そうね、着替えましょう」と返答される。</p> <p>花壇の手入れは、自分で水まきをされる。膝の痛みの訴えは無いが、左膝を気にしている。</p>	<p>家族（長男の嫁）に報告する。</p> <p>近頃は介護に抵抗することが増えて困っている。もともと綺麗好きな人なのに、汚れた衣類のままでは本人も嫌だと思っております。</p>		職員 A
○年7月20日 14:30/病院			<p>・病院受診に同席する</p> <p>血圧が高いので薬の飲み忘れが無いように留意してください。歩行不安定があるため、転倒が無いように見守りをしてください。（主治医）</p>	計画作成担当者 B
○年7月21日 16:30 モニタリング	<p>近頃は介護に抵抗することが増えて困っている。薬の飲み忘れも頻回で、過去に脳梗塞の既往もあるので心配。いつ一人で出かけていくか分からず、その都度に対応しなければならいが、共働きのため困っている。（長男は自営業、長男の嫁は近所のスーパーでパート勤務）自宅内でもたびたび転倒している。近所の人からも「危ないから施設に入った方が良いのではないか」と進言されている。自宅で暮らしたいと本人が思っていることは分かるが、仕事に支障が出ている。でそろそろグループホームに入居した方が良いかと思っている。すぐに入れなければ連泊させてもらいたい。（長男の嫁）</p>			計画作成担当者 B

計画作成
担当者確認欄

ライフサポートプラン記録用紙

利用者氏名： 岡安 英子

当面の具体的な目標 #1 自宅の花壇の手入れを続けることができる #2 自分でトイレまで歩いて行くことができる

年月日 時間/場所	本人	家族・介護者	地域、医療、その他	記入者
○年 7 月 22 日 9 : 00/事業所	送迎時、衣類が汚れている。来所後に着替えを促すが「朝、着替えてきました」と断られる。入浴の声かけをすると「朝風呂は贅沢ね」とにこやかに返答される。入浴後、衣類を着衣順に整理すると自分で着替えられた。	朝食後に自分でトイレに行こうとしていたが、間に合わず衣類が汚れています。着替えを促したが期限が悪く対応できませんでしたとのこと。(送迎時：長男の嫁)		職員 C
○年 7 月 22 日 15 : 00/事業所	職員が珈琲を準備していると、「私は珈琲を入れるのが得意なのよ」と話される。職員と一緒に準備を手伝われる。終始笑顔で準備の手伝いをされる。	義父と義母は昔から珈琲好きで、豆を買ってきて飲んでいて。休みの日には馴染みの喫茶店に良く出かけていた。(送迎時：長男の嫁)		職員 D
○年 7 月 23 日 13 : 00/自宅	訪問時「出かけないといけないわ」と落ち着かない。花壇の手入れを始めると集中される。			職員 E
○年 7 月 23 日 16 : 30 ミーティング	※モニタリング時に家族から受けた相談について話し合う。(グループホーム入居、泊まり連泊をご家族が要望) ・グループホームの入居か泊まりの連泊を希望しているが、夜は眠れないのだろうか。昼間の支援が出来れば自宅で暮らし続けることはできないだろうか。 ・本人はどこに“出かけないといけない”と思っているのだろうか。 ・誰かが代わりに外出時の支援を行えば、家族の精神的な負担は減らせるのだろうか。支援をしてくれる地域資源はあるのだろうか。 婦人会の友人に相談してみてもどうか。花壇の手入れは継続できているので、次の目標を考えてみてはどうだろうか。 ・着替えを拒否するのは、本人が恥ずかしいと思っているからではないだろうか。介助のタイミングと声のかけ方をご家族と話し合ってみてもどうか。 ・薬の飲み忘れが増えているのであれば、確認が必要ではないか。 参加者：○○ (管理者)、○○ (看護職)、○○ (介護従事者)、○○ (計画作成担当者)			計画作成担当者 B
○年 7 月 24 日 14 : 00/公民館			英子さんが来なくなって、寂しいと皆話している。美味しい珈琲を入れて皆で話すのが楽しみだった。(婦人会の友人)	計画作成担当者 B

計画作成
担当者確認欄